

2022年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
地理歴史	地理B	2	3年次・理系	内山 直希 ・ 吉田 崇			
選択するときの条件	地理理系前半を履修していなければならない。						
使用教科書	新詳地理B (帝国書院)	使用副教材	詳解現代地図 (二宮書店) フォトグラフィア地理図説 (とうほう)				
科目の目標			道徳教育のねらい				
現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			地域・社会・世界に対する認識を深め、社会の一員としての必要な自覚を養う。				
学習活動内容		市函DP					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察							
1	3章 人口、村落・都市	○	◎	◎	○	○	
2	4章 生活文化、民族・宗教	○	◎	◎	○		
第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察							
3	1章 現代世界の地域区分	○	○	○			
4	2章 現代世界の諸地域	○	◎	◎	○		
5	3章 現代世界と日本	◎	◎	◎	○		
6	グループワーク	◎			◎	◎	
7	課題提出	◎			○	◎	
8	考査		◎	◎			◎
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断		技能・表現		知識・理解	
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。		地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。		現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	
評価の方法	小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。	定期考査や小テスト、課題などにより、系統地理的、地誌的に考察し、判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、地図や統計、画像などの資料を活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。	

地理系後半 授業計画

授 業 計 画					実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察	<ul style="list-style-type: none"> 資料を活用して都市や村落について理解し、都市・居住問題の解決について考察し結果をまとめる。 文化や民族の特徴や分布について理解する。 現代世界の民族・領土問題の現状について理解し、課題を考察する。 多様な観点から、地域区分や地誌の考察ができることを理解する。 中国や朝鮮半島について、自然や産業、隣国との交流などの観点から考察する。 東南アジア・南アジアについて、自然や産業、宗教などの多様な事象を項目ごとに整理して考察する。 西アジアと中央アジアについて、自然や文化、資源・産業などの面において類似的な二つの地域を比較して考察する。 	3節 村落と都市(4)		
	5	3章 人口、村落・都市(7)		4節 都市・居住問題(3)		
	6	4章 生活文化、民族・宗教(11)		1節 世界の衣食住(2)		
		前期中間考査(1)		2節 民族と宗教(3)		
	7	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察		3節 現代世界の国家(2)		
		1章 現代世界の地域区分(1)		4節 民族・領土問題(4)		
		2章 現代世界の諸地域(36)		1節 地域区分とは何か(1)		
		7		1節 地域の考察方法(1)		
		8		2節 東アジア(5)		
9	前期期末考査(1)	3節 東南アジア(4)				
後 期	10	<ul style="list-style-type: none"> 北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、自然や歴史的背景などの観点から二つの地域を比較して考察する。 ヨーロッパについて、自然や産業、EUなどの事象を項目ごとに整理して考察する。 ロシアについて、産業などの項目を歴史的背景や日本との交流に着目して考察する。 アングロアメリカについて、自然や産業、国際社会との関係に留意して考察する。 ラテンアメリカとオセアニアについて、文化や産業などの事象を歴史的背景と関連づけて考察する。 現代世界における日本について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の日本のあり方などについてまとめる。 	6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ(2.5)			
	11		7節 ヨーロッパ(5)			
	12		後期中間考査(1)			8節 ロシア(2.5)
			9節 アングロアメリカ(5)			
	1		3章 現代世界と日本(2)			10節 ラテンアメリカ(3)
			1			11節 オセアニア(2.5)
						1節 日本が抱える地理的な諸課題(0.3)
						2節 日本が抱える課題の追究(1.7)